

申込方法

■申込方法

ホームページ

本学ホームページ「社会貢献・生涯学習」のお知らせに掲載している記事から専用申込フォームにアクセスし、必要事項をご入力の上お申込ください。

<http://www.hyogo-dai.ac.jp/>

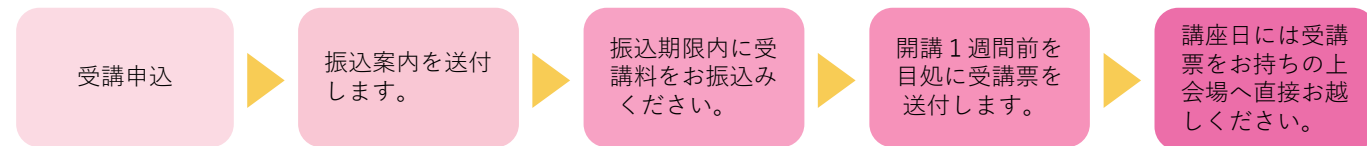
スマホからもお申込できます→



FAX

下記の申込用紙に必要事項をご記入の上、お申込ください。

■申込手順



■申込期間

令和3年 9月10日(金)まで ※先着順で受付します。 申込は定員に達した段階で締め切ります。

令和3年度
兵庫大学幼稚園教諭免許法認定講習 申込書

FAX 079-427-9897

氏 名	(フリガナ)		性 別	生年月日	
			☐ 男 ☐ 女	西暦	年 月 日
住 所	〒 -				
連絡先	TEL		携帯電話		
	FAX		E-mail		
勤務先	TEL()				
幼稚園教諭 二種免許状 取得年月日	※いずれかに○ 昭和・平成 年 月 日				

希望科目に○をつけてください

受講希望	教科及び教職に関する科目	科目名(単位数)	受講料
☐	保育内容の指導法(情報機器及び教材の活用含む)	「保育内容総論」(2)	8,000円
☐	教育の基礎的理解に関する科目	「教育心理学」(1)	4,000円
☐	領域に関する専門的事項	「こどもと造形」(1)	4,000円

【お問合せ先】

兵庫大学 エクステンション・カレッジ

〒675-0195 加古川市平岡町新在家2301

電話：079-427-9966 FAX：079-427-9897

<http://www.hyogo-dai.ac.jp/research/extension/>

E-mail：kouza@hyogo-dai.ac.jp

Access



徒歩 JR東加古川駅北側出口より12分
車 加古川バイパス加古川東ランプより4分



文部科学省 幼稚園教諭免許法認定講習等推進事業

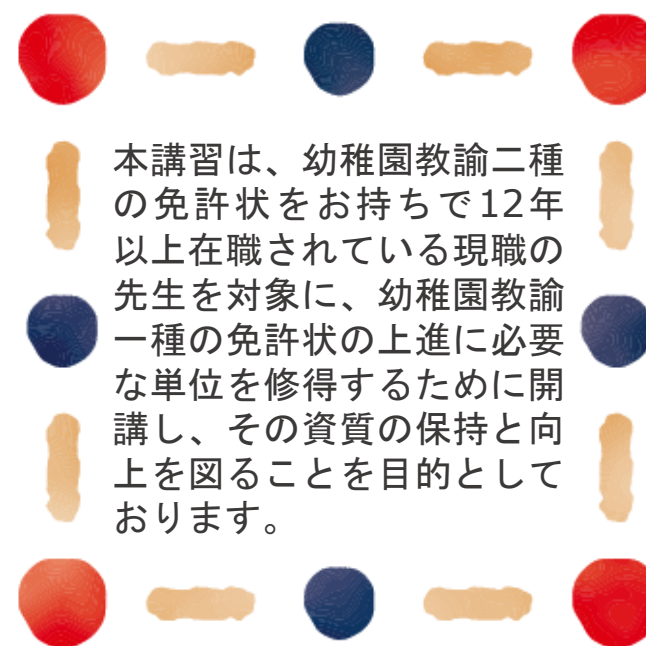
兵庫大学 幼稚園教諭

免許法認定講習

令和3年度

免許法認定講習とは？

現職教員が上位の免許状等を取得しようとする際に、大学教職課程以外に必要な単位を修得するための講習です。



本講習は、幼稚園教諭二種の免許状をお持ちで12年以上在職されている現職の先生を対象に、幼稚園教諭一種の免許状の上進に必要な単位を修得するために開講し、その資質の保持と向上を図ることを目的としております。



<特典1>

開講する3科目を受講することで、
免許状更新講習【選択科目】を
相互認定することができます！

<特典2>

3科目受講することで、期間中の
エクステンション・カレッジ講座
が全て“無料”で受けられます！

受講対象者

- 幼稚園教諭二種免許状を有し、幼稚園及び認定こども園等に勤務している教員で、幼稚園教諭一種免許状を取得しようとする者
- 令和4年4月1日に、幼稚園教諭(幼保連携型認定こども園保育教諭等を含む)として12年以上(※)の在職年数となる予定の者

※ 令和4年4月1日に勤務経験が10年以上12年未満の方でも受講することは可能です。

受講料

1単位 4,000円(半期受講料・教材費含む)

認定講習一覧

単位数に応じて
受講料が決まります。

教科及び教職に関する科目		科目名	開講年度	開講期	授業回数	単位数
す 容 の 指 導 法 に 関 する 領 域 及 び 保 育 内 容	領域に関する専門的事項	こどもと造形	R 3	Ⅱ	8	1
	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用含む）	保育内容総論	R 3	Ⅱ	1 5	2
		こどもと言葉	R 4	I	1 5	2
		保育内容「表現」の指導法（音楽）	R 4	I	8	1
		教育の基礎的理解に関する科目	教育心理学	R 3	Ⅱ	8
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		教育方法論	R 4	I	8	1
大学が独自に設定する科目		発達障害児への支援	R 4	I	1 5	2

【参考】免許法別表第3により上級免許状を所得する場合(幼稚園)

受けようとする免許状			専修		1 種											
基礎資格となる免許状			幼稚園 1 種		幼稚園 2 種											
模範規程			教育職員 免許法 別表第 3		教育職員免許法 別表第 3							教育職員免許法施行規則 第 1 1 条第 1 項の表備考 第 3 号 (注 1)				
基礎資格となる免許状を所得した後の幼稚園（特別支援学校の幼稚園及び幼保連携型認定こども園を含む）における教員としての勤務成績良好な必要在職年数			3	5	6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	
基礎資格となる免許状を所得した後の最低修得単位数（注 2）（注 3）			15	45	40	35	30	25	20	15	10	25	20	15	10	
必ず含めねばならない科目及び単位数	教科及び教職に関する科目 (注 6)	計		15	30	27	24	22	19	15	13	10	20	17	13	10
		科に領域に関する指導内容及び保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用含む）（注 5）	領域に関する専門的事項（注 4）		4	4	3	3	3	2	2	1	2	2	1	1
					10	10	10	8	7	7	7	5	7	7	7	5
		教育の基礎的理解に関する科目			7	5	4	4	4	2	1	1	3	2	1	1
		道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目			3	3	3	3	2	1	1	1	2	2	1	1
		大学が独自に設定する科目		15 (注 7)	6	5	4	4	3	3	2	2	6	4	3	2

(注1) 免許法施行規則第11条第1項の表備考第3号の適用条件
①大学に3年以上在学し、かつ、93単位以上修得 又は ②大学に2年以上及び大学の専攻科に1年以上在学し、かつ、93単位以上修得

(注2) 基礎資格となる免許状の取得後であれば、在職年数の条件を満たす以前に単位の修得を開始した場合でも、すべての条件が整えば申請できます。
例えば、幼稚園教諭1種免許状を取得するための単位を在職年数10年目から修得を始め、11年目に修得終了後、満12年を経過した時点で申請できます。

(注3) 必ず含めねばならない科目及び単位数の合計単位数と最低修得単位数との差は、教科及び教職に関する科目の中から選択します。

(注4) 健康、人間関係、環境、言葉及び表現の領域に関する専門的事項に関する科目のうち1以上の科目について修得します。

(注5) 保育内容の指導法の単位の半数までは、小学校教諭免許状の授与を受けるために修得した各教科の指導法又は特別活動の指導法の単位を使用できます。

(注6) 幼稚園以外の教諭の普通免許状の授与を受けるために修得した教科及び教職に関する科目の単位のうち、下記の単位を使用することができます。
・教育の基礎的理解に関する科目(教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。))を除く。
・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目(道徳の理論及び指導法、総合的な学習の時間の指導法、特別活動の指導法並びに教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。))を除く。

(注7) 専修免許状の授与を受ける場合の大学が独自に設定する科目の単位のうち3単位までは、下記の科目に準ずる科目の単位をもって、これに替えることができます。
・保育内容の指導法に関する科目
・教育の基礎的理解に関する科目
・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
・教育実践に関する科目

令和3年度後期開講科目

保育内容総論					
講師名	小林 みどり（こども福祉学科）	単位	2	成績評価の方法と評価の割合（％）	
会場	兵庫大学13号館 エクステンション・カレッジ	時間	14：40～16：10	試験	50
日程	全16回（試験含む） 9/16、9/30、10/7、10/14、10/21、10/28、11/4、11/11、11/18、11/25、12/2、12/9、12/16、R4.1/13、1/20、1/27			小テスト	0
授業の概要	保育所や幼稚園での子どもにふさわしい生活について基本的な考え方を学ぶ。保育実践を行ううえで基盤となる知識や技能の修得を目指す。今日の保育の課題を整理し、今後の保育の姿を展望し、実践する力につながる素地を培う。			レポート	0
				発表・実技	20
				授業内課題	30
主なテーマ	保育内容とは何か、保育内容の実践的理解 等			その他	0
				合計	100

教育心理学					
講師名	松田 信樹（こども福祉学科）	単位	1	成績評価の方法と評価の割合（％）	
会場	兵庫大学13号館 エクステンション・カレッジ	時間	16：20～17：50	試験	30
日程	全8回（試験含む） 9/16、10/7、10/21、11/4、11/18、12/2、12/16、R4.1/20			小テスト	70
授業の概要	人は生まれてから実にたくさんのことを身につけて発達していく。それを可能にするのが広い意味での教育である。人の人としての発達を支える教育という営みについて、心理学の観点から考える。			レポート	0
				発表・実技	0
				授業内課題	0
主なテーマ	学習の心理学、記憶の心理学、学級集団の理解 等			その他	0
				合計	100

こどもと造形					
講師名	満田 知美（こども福祉学科）	単位	1	成績評価の方法と評価の割合（％）	
会場	兵庫大学13号館 エクステンション・カレッジ	時間	16：20～17：50	試験	0
日程	全8回（試験含む） 9/30、10/14、10/28、11/11、11/25、12/9、R4.1/13、1/27			小テスト	0
授業の概要	造形の内容を踏まえ、こどもの教育にとって共通する「表現すること」の意味や本質を根幹にして造形教育ごとに応じた制作を行う。保育・教育・造形遊びの実践・芸術の各領域で捉えられるアートの概念を総合的に理解し保育現場で実践できるスキルを身につける。			レポート	0
				発表・実技	10
				授業内課題	90
主なテーマ	材料を軸とした造形活動、イメージをもとにした造形活動、文化的領域と表現の広がり 等			その他	0
				合計	100

令和4年度前期開講科目（予定）

科目名	授業の概要
こどもと言葉	乳幼児期の言葉の発達過程や乳幼児の豊かな言葉を育む保育を行うための知識や技術（情報機器及び教材の活用を含む）、保育者としての基本姿勢、遊びとしての環境構成のあり方、保育展開の方法などを学ぶことを目的とします。授業では、乳幼児期の子ども言葉に対する感覚を豊かにする遊びや、領域「言葉」のねらいと内容をふまえての模擬保育など、実践的な体験も取り入れながら学びます。
保育内容「表現」の指導法（音楽）	保育現場での実践力を高めるために、年間を通した乳幼児の育ちや総合的表現という視野から音楽を捉える中で、音楽の活用法を学ぶ。また、乳幼児にとってのねらいを達成する為に必要な具体的な指導方法について学び、実践力を修得する。
教育方法論	幼児教育・保育現場で実践されている指導法の在り方について幼児理解の観点から解説する。情報機器を活用した効果的な教材作成と幼児の体験との関連について解説する。
発達障害児への支援	発達障害のある子どもに関する基本的な知識と具体的な支援方法について演習を通して学ぶ。自閉症スペクトラム障害、LD、ADHD等の障害特性について正しい理解を進める。子ども一人ひとりの状態や特性に応じた支援のあり方、家族への支援について、実践的な力を培うことを目指す。発達障害のある子どもたちを支援する様々な職種との連携について理解を深める。演習では、支援ツール（物）の作成を行い、環境設定を含めた物理的支援の重要性、人的支援の方法に理解を深める。